



NPO 法人日本防火技術者協会 平成27年度定時総会報告

日時：平成27年1月29日(木)
13:30~14:50

場所：ルーテル市ヶ谷センター
配布資料

- 1) 理事長挨拶
- 2) 平成26年度事業報告書
- 3) 平成27年度活動計画書
- 4) 平成26年度会計報告
- 5) 平成27年度予算
- 6) 定款の改正(案)
- 7) 次期理事、監事候補者
- 8) JAFPE 防火技術者 CPD 規則等
- 9) 2014年度 JAFPE 防火技術者認定者名簿

【総会参加者】

会員数：143名(総会の定足数72名)
出席者：出席25名、委任状60名
合計85名

【審議事項】

- (1) 議長の選任
- (2) 議事録署名人の選任
- (3) 第一号議案 平成26年度事業報告
- (4) 第二号議案 平成26年度会計報告の承認、監査報告
- (5) 第三号議案 平成27年度事業計画
- (6) 第四号議案 平成27年度予算の承認
- (7) 第五号議案 定款改正の承認
- (8) 第六号議案 次期理事、監事の承認
- (9) JAFPE 防火技術者 CPD 規則等の報告

【議事の経過の概要及び議決の結果】

出席者数、委任状数を合わせて総会の定足数を満たし、総会が成立した。審議に先立ち福井潔理事長の挨拶があった。

(1) 議長の選任

福井潔氏を議長に選任した。

(2) 議事録署名人の選任

小林恭一氏、栗岡均氏を選任した。

(3) 第1号議案 平成26年度活動報告

内容は下記。出席者全員異議なくこれを承認した。

(3.1) 防火技術に関する講習会などの事業

- ① 1/10、新宿区、68人
- ② 1/21、練馬区、32人
- ③ 9/15、神戸市、37人
- ④ 11/6、名古屋市、51人

(3.2) 防火技術に関する広報事業

ホームページによる広報活動、日本防火技術者協会ニュースを2回発行。

(3.3) 防火技術の開発・教育に関する調査・研究などの事業

- ①「津波と津波火災からの避難安全」新宿区、34人
- ②日本火災学会研究発表、新宿区、多数
- ③日本建築学会教育賞受賞報告会、千代田区、40人
- ④日本建築学会研究発表、教育賞受賞記念講演、神戸市、多数
- ⑤見学会「サウスウッド、旧露亜銀行横浜支店」、横浜市、23人
- ⑥職能WG7回、新宿区、30人
- ⑦高齢者WG8回、新宿区、各回7~8人
- ⑧ケーススタディWG8回、千代田区、多数
- ⑨ルートC標準化WG12回、千代田区、17人
- ⑩ELV 避難WG9回、新宿区、16人
- ⑪排煙WG1回、千代田区、13人

(3.4) 防火技術を生かした技術情報交換による防火技術者等との連携事業

- ①SFPE 年次総会、10/13、米国ワシントン
- ②SFPE 性能設計シンポジウム、11/10~13、オーストラリア、ゴールドコースト、多数

(3.5) 防火技術者育成及び登録事業

認定委員会の開催によるJAFPE 防火技術者認定該当者の選定と登録、3/31、新宿区、33人

(4) 第二号議案 平成26年度会計報告の承認、監査報告

中島秀男会計理事より説明があり、これを承認。高橋監事より監査報告がされた。

(5) 第三号議案 平成27年度事業計画

堀田総務理事より平成26年度活動計画についての説明があり、これを承認。主な活動計画は以下の通り。

(5.1) 防火技術に関する講習会などの事業

老人福祉施設、学校教育施設の避難安全に関する研究会を継続し、特に高齢者施設の避難安全、改善に向けた助言、施設従事者に対する教育プログラムの作成を行い、成果を出前講座などで紹介する。(6、9、11月)

(5.2) 防火技術に関する広報事業

一般のビルや公共空間や地下の火災時の状況、避難安全の確保などについて防火技術者の立場から雑誌、ホームページなどで啓発する。(随時)

(5.3) 防火技術の開発・教育に関する調査・研究などの事業

①防災上特徴のある竣工建築物を、性能設計の視点から調査するとともに、一般市民の啓発を図る。(5月)

②建築物の火災安全性と防火技術について各種WGを実施するとともに、防火研修会により火災安全防火技術者の技術や倫理向上に資する。建築学会、火災学会などとの共催、または研究発表を行う。(3、6、9、11月)

(5.4) 防火技術を生かした技術情報交換による防火技術者等との連携事業

- ①防火技術者の技術力向上、倫理維持をめざしホームページ、Email 配信などにより情報提供と相互連携、技術講習会を行う。
- ②国際的な交流会等に参加する。国際的な問題をテーマとするシンポジウムに講師を招聘・派遣する。

(5.5) 防火技術者の育成及び登録事業

防火技術者の向上育成を行うとともに、防火技術の知識を持つ、防火技術実務経験のある者が、JAFPE 防火技術者の登録申請し、認定委員会が審査し防火技術者としての一定水準を認められた者を当協会内に登録するとともに認定書を発行する。防火技術の発展に活用する。

(6) 第四号議案 平成27年度予算

出席者全員異議なくこれを承認。

(7) 第五号議案 定款改正の承認

福井潔理事長より当会事務所を中野区から新宿区に平成27年6月1日予定で移転する旨の報告、定款第2条の事務所所在地変更の説明があり、全員異議なくこれを承認した。なお、正式の移転日は理事会で決定し法人登記することも合わせて承認された。

(8) 第六号議案 次期理事・監事の承認

堀田博文総務理事より平成27年2月28日に理事、監事任期満了につき次期理事(定数6人以上12人以下)、監事(定数1人)を公募した結果、理事に上原茂男、小林恭一、小林裕、栗岡均、佐藤博臣、関澤愛、中島秀男、福井潔、堀田博文、松山賢、山田茂の11人、監事に高橋太の1人の立候補または推薦があり、いずれも定数以下であったことが報告され、審議したところ全員異議なくこれを承認した。なお、被選任者は全員、本総会に出席し就任を承諾した。

(9) その他

JAFPE 防火技術者 CPD(継続職能研修)規則、細則について説明があり、今年度から実施する予定であることが報告された。なお、理事全員の互選により理事長に上原茂男理事が、副理事長に福井潔理事が選任されました。



上原茂男 新理事長 挨拶

この度、特定非営利活動法人日本防火技術者協会の理事会において理事長に推挙され、福井前理事長の後任として4代目の理事長に就任させていただくこととなりました。協会のリーダーとしての役割を仰せつかり、まだ暗中模索の状態ですが、協会の今後のさらなる発展に向けて、微力ながら、力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様のご支援、ご助力を宜しくお願い申し上げます。

日本防火技術者協会は、平成15年に特定非営利活動法人として設立され、今年で12年目を迎えました。私も設立時から運営に携わってまいりましたが、協会の基盤づくりから始まった活動も、防火技術者の職能の確立に向けての活動、防火技術を社会に発信する活動、防火技術の向上に向けての活動など多岐に広がってきており、これらの活動内容は、日本建築学会や Society of Fire Protection Engineers (全米防火技術者協会) など国内外の団体からも高く評価され、いくつかの受賞にもいたっております。

今後も、これら防火技術者協会としての特徴ある活動を継続して実施していくとともに、社会がますます国際化していく中で、世界の防火技術者との交流を上げていくことも、当協会にとっての重要な課題であると認識しています。Society of Fire Protection Engineers との関係を有効に活用して、欧米、アジア・オセアニア諸国との交流の機会を今後も積極的に作っていくればと考えております。

会員数、事業規模ともまだまだ小さな協会ですが、皆様と力を合わせて、存在意義のある協会にしていきたいと考えておりますので、今後とも、ご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

等々力陸上競技場見学会 開催予告

日時：7月29日(水)
14:30~16:30

参加予定者：最大20名

交通：現地集合、現地解散

内容：等々力陸上競技場メインスタンドの見学会を開催いたします。当日は今般の改修計画を担当された設計者より、避難安全の視点も含めた最新のスタジアム計画を語っていただく予定です。参加申込は担当理事小林裕まで

<yutakak@eng.taisei.co.jp>

SFPE 性能設計シンポジウム 報告会 開催報告

日時：平成27年1月29日(木)
15:00~16:30

場所：ルーテル市ヶ谷センター

内容：11月10日~12日にオーストラリア、ゴールドコーストで行われたSFPE主催の性能基準と性能設計に関する国際会議におけるケーススタディの概要が報告されました。

高齢者WG活動報告

- ・研修会開催の希望があるため、本年10月26日に予定している。
- ・これまでの活動成果が火災誌本年2月号に特集として7編、掲載された。
- ・高齢者施設の防火・避難マニュアルに関する出版編集作業を行い、本年5月に近代消防社から、「高齢者福祉施設の夜間火災時の防火・避難マニュアルー特別養護老人ホームを例としてー」を刊行した。
- ・昨年度の研究成果である設計者ヒアリング結果や設計情報伝達について5月に日本火災学会(米沢市)で報告した。9月の建築学会にも3編投稿した。
- ・火災学会に合わせて、防火研修会を置賜消防本部のご協力により開催し、施設関係者約50名に上記のマニュアル本の解説と演習を実施し好評であった。

事務所移転の変更登記

1/29開催の総会で事務所移転に伴う定款第2条の改正を承認されていましたが、3/31開催の理事会で移転日を5/1にすることが承認されました。東京法務局に定款の変更登記を申請し5/12登記完了しました。登記された事務所の住所は以下のとおりです。

東京都新宿区百人町二丁目27番7号

事務所移転の東京都への届出

東京都(生活文化局)に事務所移転に伴う定款の変更と同登記完了の届を5/20に行い、受理されました。

銀行口座開設の及びゆうちょ銀行 振替口座の移転のお知らせ

会員の皆様の会費振込の利便性を向上するために、都市銀行である三菱東京UFJ銀行に口座を開設いたしました。また、ゆうちょ銀行振替口座も中野から北新宿に

移動しましたのでお知らせいたします。下記が新口座情報です。

【三菱東京UFJ銀行(コード番号0005)】
大久保支店(店番:364)
普通口座
口座番号:0207375

【ゆうちょ銀行 振替口座】
北新宿三郵便局
口座番号:00160-4-759167
なお、ゆうちょ銀行の口座番号の変更はありません。

理事会等の開催報告

理事会を以下の日に実施しました。
12月19日(金)、1月13日(火)、2月13日(金)、3月31日(火)、5月18日(月)、7月1日(水)

会員情報

会員	144名
賛助会員	9名
学生会員	1名
新入会会員	
榎本 満帆	(株)明野設備研究所
古宇田 智子	(日)建設
斎藤 美玖	(株)明野設備研究所
矢崎 有美子	(株)明野設備研究所
新入会賛助会員	
(有)バルアソシエイツ	
敬称を省略させていただきます (2015年6月現在)	



SFPE 日本支部 2015年度定時総会 開催報告

日時：平成27年1月29日(木)
14:00~14:30

場所：ルーテル市ヶ谷センター

議題内容

- 1) 2014年度事業報告
- 2) 2015年度活動計画
- 3) その他

【議事の経過の概要及び議決の結果】

- 1) 国際対応活動
 - ・2014/10/13にSFPE本部総会と付帯行事がカリフォルニア州ロングビーチ



で行われ、福井理事長が参加した。関澤副理事長がアーサー・グイーズメダルを受賞された。日本支部もチャプターエクセレンスシルバーメダルを受賞された。

・2014/11/10-12にSFPE性能設計シンポジウムがオーストラリアのプリズベンで開催され、福井理事長、関澤副理事長、他メンバーが参加し、5名が講演を行った。

2) 高齢者WG

主たる活動メンバーは佐藤(主査)、仲谷、笠原、栗岡、建部、富松、大西、小林、堀田、山村、村井である。また東京理科大学や神戸大学の学生も適宜参加している。主たる活動は以下の通りである。

・WGは8回(1/14, 2/13, 3/18, 4/22, 5/20, 8/25, 10/22, 12/25)、東京理科大学にて開催。(夜間防火・避難マニュアル、FIG火災図上演習マニュアル、実行訓練マニュアルの検討、火災学会および建築学会発表内容検討、神戸市防火研究会、名古屋市防火研修会および鹿島学術振興財団研究助成報告書作成検討など)

・火災学会(5月東京理科大学)および建築学会(9月神戸大学)に前年度の研究成果を合計9編発表。

・建築学会研究発表の日程に合わせて、神戸市社会福祉協議会の協力により、防火研修会を開催し、あわせて複数施設の見学・討議を実施した。施設設計者ともこれらの施設に係わる課題について対話することが出来た。

・名古屋市での研修会では名古屋市消防局の協力のおかげで消防職員20名に加えて施設職員44名の参加を得て、それぞれにFIGを体験させた。次年度も研修会の開催の希望があった。

・「病院設備」等に活動の状況を寄稿した。

・2015年度は、日本火災学会の会誌「火災」に特集記事を掲載するほか、高齢者施設の防火・避難マニュアルに関する出版を予定する。地方の施設を対象として出前講座を積極的に実施する。さらにアンケートの分析やマニュアル類などの精査・向上を行う。

・上記火災学会に合わせて、防火研修会を置賜消防本部のご協力によって開催し、施設関係者約50名の参加に上記のマニュアル本の解説と演習を実施し公表であった。

3) SFPE ケーススタディ WG

「SFPE ケーススタディ WG」を1月に組織した。メンバーは福井(主査)、森山、新谷、峰岸、城、吉田、大原、北堀、岸上。

・WGは8回(1/8, 1/24, 2/24, 5/1, 6/10, 7/8, 9/3, 10/3)開催した。2014/11/12-14、オーストラリアのプリズベンで開催した第10回SFPE性能設計シンポジウムに向けて日本支部のケー

ススタディを作成した。7月までに完成した。またシンポジウムに参加した。テーマは、吹抜けのあるオフィスビル。

4) 防火技術職能に関するWG

メンバーは富松(主査)、笠原、小林、堀田、宇山、佐藤、堀田、中島、角谷、牧、原田、仲谷、水野、鈴木、福井である。また、随時、関係者の参加も得て開催している。

・WGは7回(1/14, 2/13, 4/2, 6/9, 8/25, 10/22, 12/12)東京理科大学小川教授室にて開催。また検討は理事会での確認をとりながら行った。

・JAFPE 防火技術者制度に関する規則や細則、第2次の認定に関する詳細を検討。

・第2次認定については認定応募者を1月公告、2/28応募締め切り、3/18に認定委員会(委員長:田中、委員:矢代・小林・笠原・富松、事務局:堀田・中島で構成)を開催し、応募のあった26名の内、25名を選出した。また認定カードを発行した。

・更新に伴うCPD制度(継続的職能開発)の検討を行い規則案を作成。運用を開始する。2015年はCPD制度の単位の細目などについて検討をする。次回の認定は、2015年秋に公募し、12月に認定委員会の開催を予定。

5) ルートCの標準化WG

「避難安全検証法(ルートC)の標準化WG」を5月に創設した。メンバーは山口(主査)、池畠、井田、大宮、佐野、高橋、竹市、田村、長岡、中道、仁井、萩原、松下、水落、水野、吉田、山田。

・WGは12回(1/27, 2/24, 3/31, 4/28, 5/26, 6/30, 7/28, 8/25, 9/29, 10/27, 12/1, 12/22, 1/26, 2/23)開催した。

・高度な手法を用いた性能評価(ルートC)の円滑な運用を目指し、現状の課題の整理(運用的側面、技術的側面、その他)を行った上で、より好ましい性能評価を行うための具体的な方法として、①運用ガイドラインの作成、②避難開始時間等の標準的な計算法の検討などを提案・実施することを目的として行っている。

・2月のWGを最後に中断中。

6) エレベーター・エスカレーター避難検討WG(ELV避難WG)

・WGメンバーを公募し13名の応募を得た。担当理事の山田を含め14名で1月より活動を開始し、途中3名の追加、1名の脱退があった。現メンバーは山田(主査)、相澤、大豆生田、菊地、小林、篠崎、城、関澤、添川、出口、中濱、野竹、堀内、森山、山本、吉田。

・WGは9回(1/17, 2/18, 3/26, 5/13,

6/24, 8/8, 9/18, 10/22, 12/2)開催。

・高層事務所ビルの火災時に全在館者を避難階まで、乗用エレベーター、非常用エレベーター及び階段を利用することを前提に、安全かつ、できるだけ短時間に避難させる手法を提案する。乗用エレベーター、非常用エレベーター及び階段の、それぞれの単体の性能だけでなく、関連する建築的・設備的な要件及び運用方法等も含む。なお、エレベーター避難の手法を導入することで、建物単体及び都市における社会基盤の価値向上、公共の福祉の増進に貢献すること等も期待する。

・ガイドラインを作成することを目指す。

7) 機械排煙時扉開閉障害改善WG(排煙WG)

機械排煙時扉開閉障害改善を目的とした「排煙WG」を10月に創設した。メンバーは森山(主査)、太田、大宮、笠原、岸上、竹市、土屋、中谷、広田、水落、峯岸、山田、吉田。

・WGは1回(12/8)開催した。近年建物の機密性能の向上や、空調方式の個別化、エレベーター扉の気密化などにより機械排煙を設置した建物で排煙を起動すると付室や階段室の避難扉が室の負圧により開放しづらい状況が多発している。場合によっては男性二人で押してもあかないケースもある。火災時に迅速な避難が必要な避難経路の扉がこのような状態になることは大変危険であり、防止策の作成が急がれている。当WGは、機械排煙を動作させた場合の扉開放障害を防止するための技術的な解決法を検討するために組織し、当会としての指針・基準を作成するとともに国土交通省へ要望書を提出するなど社会貢献につなげたい。

8) 最新建物の見学研修会(事業WG) :

・10月「サウスウッド、旧露亜銀行横浜支店」の見学会開催した。

・2015年度は、見学研修会3回開催を予定。

9) 広報活動

SFPE-Jニュースはそのまま「NPO法人日本防火技術者協会」の広報ともなり日本防火技術者協会ニュース(JAFPEニュース)の一部に掲載。30~31号2回発行した。2015年度はJAFPEニュース3回発行を予定する。



ビル内保育所に関する勉強会 開催報告

日時：平成27年4月23日(木)
18:00~20:00

場所：東京理科大学神楽坂分室

最近、女性の就労支援の一環として保育所の整備が推進されています。その中で、駅前など建築密集地での保育所の需要は利便性の点から高く、保育所がビルのテナントとして、低層階に限らず中層階以上に設置される事例が増加しています。そうした中で、自力での避難が期待できない乳児や幼児の火災時の避難安全が本当に確保されているかが問題になると考えております。

この問題について日頃設計や研究で接しておられる方々に参加いただき勉強会を開催しました。参加者は清水建設水落氏、大成建設林氏、明野設備研究所土屋氏、日本建築センター古川氏+理事数名でした。勉強会では貴重な情報と、この問題に対するご意見が得られ、認識を新たにする良い機会となりました。

この勉強会を踏まえ、こうした問題について現状を把握し、問題点を明らかにして社会への呼びかけをするとともに、ビルの中層階以上に保育所を設置する際にどのようにして火災安全を確保するかを考え、提示することを考えてWGを設置することにいたしました。会員の皆様の参加を歓迎します。

アジア・オセアニア地区主催の性能設計に関するシンポジウムを開催するという本部からの提案も含め、議論したが、継続検討となった。また、議長が関澤理事から香港のChow先生に交代することとなった。



SFPE アジアオセアニア地区 支部交流会 開催報告

日時：平成27年5月28,29日
15:00~16:30

場所：インドネシア ジャカルタ TMI

今回の支部交流会はインドネシア支部のペトラスさんのアレンジによって行われた。日本からは関澤、堀田、福井の3理事の他2名、合計5名が参加した。他の参加国は韓国、台湾、香港それに本部からジャカルタが参加した。28日にはこれからジャカルタで整備されるMRTに関するセミナーが開催され、日本からは福井理事が日本の地下鉄の火災安全基準を中心にプレゼンを行った。MRTシステムは日本のものが採用され、火災安全についても日本の基準が取り入れられている。

29日は市内視察に引き続き、支部交流会が開催された。各国からの活動報告に続き、今後の交流会の開催について性能設計に関する国際会議の開催されない年にア

Fire Technology Volume51, Issue1, Jan.2015

■ Fire and the Environment : Margaret Simonson McNamee

■ Flexible Polyurethane Foams: A Comparative Measurement of Toxic Vapors and Other Toxic Emissions in Controlled Combustion Environments of Foams With and Without Fire Retardants: Matthew Blais, Karen Carpenter

■ Combustion Characteristics of Flat Panel Televisions With and Without Fire Retardants in the Casing: Matthew Blais, Karen Carpenter

■ Performances of Blends Between Poly(pentabromobenzyl acrylate) and Magnesium Hydroxide as Flame Retardants for Polypropylene Block

Copolymers : L. Melamed, E. Eden, M. Leifer, P. Georlette

■ Reaction-to-Fire Properties of Wood-Polypropylene Composites Containing Different Fire Retardants : Marina Nikolaeva, Timo Kärki

■ Application of a Cost-benefit Analysis Model to the Use of Flame Retardants: Margaret Simonson McNamee, Petra Andersson

■ Exposure to Polybrominated Diphenyl Ethers in the Indoor Environment: Thomas F. Webster, Heather M. Stapleton, Michael D. McClean

■ Improving Strontium Nitrate-Based Extinguishing Aerosol by Magnesium Powder : Chen-guang Zhu, Jun Wang, Wan-xin Xie, Ting-ting Zheng, Chunxu Lv

■ Combustion Characteristics of Municipal Solid Waste Bales : Muhammad Asim Ibrahim, Glenn Appel, Anders Lönnemark, Henry Persson

■ Characteristics of Nuclear Facility Waste Bag Fires : Young-Geun You, Haejun Park, Nicholas A. Dembsy, William B. Till Jr

■ valuating Fire Service Escape Ropes at Elevated Temperatures and Fire Conditions : Gavin P. Horn, Julien Chaussidon, Mark Obstalecki, Daniel A. Martin

■ Conceptual Model Development for Holistic Building Fire Safety Performance Analysis : Haejun Park, Brian J. Meacham, Nicholas A. Dembsy, Mark Goulthorpe

■ Analyzing Thermal Shrinkage of Fire-Protective Clothing Exposed to Flash Fire : Xiaohui Li, Yehu Lu, Lina Zhai, Min Wang, Jun Li, Yunyi Wang

■ Questions About the Conclusions in Blais and Carpenter 2013 : Vytenis Babrauskas, Veena Singla, Donald Lucas, David Rich

■ Author Rebuttal to Babrauskas et al. Referencing the Article "Flexible Polyurethane Foams: A Comparative



Measurement of Toxic Vapors and Other Toxic Emissions in Controlled Combustion Environments of Foams With and Without Fire Retardants : Matthew S. Blais, Karen Carpenter

■Obituary: A Tribute to Professor John L. Bryan: Jim Milke

Fire Technology

Volume51, Issue2, Mar.2015

■Fire Safety in Mines : Charles D. Litton

■ Investigation of the Role of Fire Retardants in Preventing Spontaneous Heating of Coal and Controlling Coal Mine Fires : J. Pandey, N. K. Mohalik, R. K. Mishra, A. Khalkho, D. Kumar

■Quantification of Optical and Physical Properties of Combustion-Generated Carbonaceous Aerosols (< PM2.5) Using Analytical and Microscopic Techniques : Inoka Eranda Perera, Charles D. Litton

■ Theoretical Flammability Diagram for Analyzing Mine Gases : Tingguang Ma, Michael Larrañaga

■ Proposing a Progress Variable for Monitoring Compartment Backdrafts and Coal Mine Fires : Tingguang Ma, Michael D. Larrañaga

■Revised Explosibility Diagram to Judge Best Practice of Controlling an Explosive Gas-Mixture : Jianwei Cheng, Fubao Zhou

■Explosibility Safety Factor: An Approach to Assess Mine Gas Explosion Risk : Jianwei Cheng, Yi Luo, Fubao Zhou

■A New Approach to Control a Serious Mine Fire with Using Liquid Nitrogen as Extinguishing Media : Zhou Fu-bao, Shi Bo-bo, Cheng Jian-wei, Ma Ling-jun

■ Quantitative Testing of Fire Scenario Hypotheses: A Bayesian Inference Approach : Kristopher J. Overholt, Ofodike A. Ezekoye

■Fire-Induced Temperature Correlations in Ceiling Vented Compartments : Jiaqing Zhang, Shouxiang Lu, Changhai Li, Richard Kwok Kit Yuen

■Estimating Fires When a Product is the Primary Fuel But Not the First Fuel, With an Application to Upholstered Furniture : John R. Hall Jr.

■ A Pilot Study on Hypoxic Air Performance in Fire Prevention : Stefano Chiti

■ The Concepts of Safety Level and Safety Margin: Framework for Fire Safety Design of Novel Buildings : Henrik Bjelland, Ove Njå, Atle William Heskestad, Geir Sverre Braut

■ Parameter Estimation for Comprehensive Pyrolysis Modeling: Guidance and Critical Observations : E. Kim, N. Dembsay

Fire Technology

Volume51, Issue3, May.2015

■ Appreciation to Fire Technology Reviewers of 2014

■Cloud Versus In-house Computing for Open Source Fire Modelling : Edmund Ang

■ Fire Modelling Within Cloud Based Resources : C. Salter

■ Fire Safety Standards in Brazil on Smoke Detectors: Why was the Commissioning with Real Smoke Stopped? : Rodrigo Machado Tavares

■ Application of Green Surfactants Developing Environment Friendly Foam Extinguishing Agent : Peng Wang

■Superposition with Non-linear Boundary Conditions in Fire Sciences : Johan Sjöström, Ulf Wickström

■ An Implementation of the Rothermel Fire Spread Model in the R Programming Language : Giorgio Vacchiano, Davide Ascoli

■Pool Fires in a Corner Ceiling Vented Cabin: Ghosting Flame and Corresponding Fire Parameters : Qize He, Changhai Li, Shouxiang Lu, Changjian Wang, Jiaqing Zhang

■ Using Serious Games and Virtual Simulation for Training in the Fire Service: A Review : F. M. Williams-Bell, B. Kapralos, A. Hogue, B. M. Murphy, E. J. Weckman

■ Limit-Based Fire Hazard Model for Evaluating Tunnel Life Safety : J. Gehandler, L. Eymann, M. Regeffe

■ Differences in Determinants Amongst Individuals Reporting Residential Fires in Sweden: Results from a Cross-Sectional Study : Finn Nilson, Carl Bonander, Anders Jonsson

■Experimental Study of Heat Transfer in Intumescent Coatings Exposed to Non-Standard Furnace Curves : Lingling Wang, Yuli Dong, Chao Zhang, Dashan Zhang

■ A Study of Reproducibility of a Full-Scale Multi-Room Compartment Fire Experiment : Nils Johansson, Stefan Svensson, Patrick van Hees

■ Fuel Surface Cooling by Aqueous Foam: A Pool Fire Suppression Mechanism : M. W. Conroy, R. Ananth

■Experimental and Theoretical Study for Tunnel Fires with Natural Ventilation : Zhongyuan Yuan, Bo Lei, Ahmed Kashef

■ Initial Fuel Temperature Effects on Flame Spread over Aviation Kerosene in Low- and High-Altitude Environments : Manhou Li, Shouxiang Lu, Jin Guo, Ruiyu Chen, Kwok-Leung Tsui

■Temperature Predictions Using Hybrid Heat Flux Gage Measurements : Thomas Vega, Brian Y. Lattimer, Thomas E. Diller

Fire Technology は隔月に発行されています。なお Journal of Fire Protection Engineering は Fire Technology に統合されました。
<http://link.springer.com/journal/10694>